

第450号



広報

あくな

阿久根市の人口	
住民基本台帳人口と世帯数	
(7月1日現在)	
人口	29,616 (+26)
男	13,822 (+4)
女	15,794 (+22)
世帯数	9,792 (+6)



見直そうふるさと  
スカー  
パー  
ー  
さく  
さ

## 郷土屋敷の門…早水家

郷土屋敷の門が、市内脇本馬場の早水家に残っている。市内ではたまた一つ残る貴重な門で、明治十四年四月建立された。

「これまで出水郷脇本の跡は現在の瀬之浦の伊勢神社附近であったが、天和のころの一大干拓事業によって現在の脇本小学校周辺に移った。跡が馬場に移動したため脇本の郷土の屋敷も現在の馬場に移動した。そのときに建てられた屋敷の門として残っている」。阿久根市の文化財より

門は幅が四尺、高さ二尺、平屋で門柱は、はりはまたがっしりしているが、外壁、柱の一部は、こぶし、さかき、時代の重みを感ぜさせる。静かな門のたたずまいに目を閉じれば、明治がそこにあるようだ。

採りわけ

金澤の川

武家の門

富浜幸志

59年

7月号

# 第2回定例市議会

一般会計 二億一千萬円追加  
総額 73億 786万円

## 漁具倉庫(佐賀港)建設にも補助

第二回阿久根市定例市議会は、六月十九日から二十八日までの十日間の会期で開かれ、承認三件、認定一件、議案五件が上程され、いずれも原案どおり可決されました。

この中で、一般会計に二億二千六万五千円を追加し、予算総額を七十三億七百八十八万五千円としました。

承認三件は、昭和五十八年度阿久根市一般会計補正予算、市税条例、国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認で、市税条例の一部改正では、障害者等にかかる市民税の非課税の限度額の範囲を引き上げたものや、法人等にかかる税率の改正、軽自動車税の引き上げなどが主でした。

国民健康保険税条例の一部改正では、保険税の課税限度額現行、「二十八万円」を「三十五万円」に引き上げるものなど。

認定一件は、市道の認定で山下の山波線、木佐木野の木佐木野東線を市道に認定するものです。議案五件では、小瀬港の物揚場の建設に伴う、公有水面埋め立てについて議会の議決を求めたもの。



漁具倉庫が建設される牛之浜港

市民いこいの森の整備に伴って、設置及び管理条例を定めたもののほか、阿久根市火入れに関する条例

市民いこいの森の整備に伴って、設置及び管理条例を定めたもののほか、阿久根市火入れに関する条例

例、一般会計補正予算、冷蔵庫特別会計補正予算の議案でした。  
一般会計補正予算では、歳入歳出に二億二千六万五千円を追加し、予算総額を七十三億七百八十八万五千円としました。  
歳出の主なものでは、民生費の保育所費、児童館費の資金三百七十五万円。  
農業振興費では、拠点地区村づくり整備事業費として七百万円を計上、臨本瀬少浦上区の集会所施設

建設に補助します。また、阿久根中央青果市場建設に伴う補助金八百万円、出資金五百四十万円も予算化しました。

農地費では、県単の土地改良事業補助費及び、農道舗装として、東天下、仏石、高之口、大瀬崎地区など四地区分三千六百四十五万円、桑原城地区の橋造改善事業費の不足分六百万円も計上しました。

### 阿久根中校舎改修費も追加、約三千五百万で三階校舎の大改修へ

水産関係予算では、大島沖と黒之浜漁協区域に設置する並拘魚種と築いそ設置工事費一千百十八万円、牛之浜港に建設する漁具倉庫設置補助金一千六百万円が主な

ものでした。  
また、市営住宅建設の追加予算も計上し、今年度分として九戸を臨本上原地区に建設を予定しています。

消防費では、今年退職する団員の退職報償金の不足分、羽田、長野区など十七箇所を設置する防火水槽の設置補助金五十万も予算化しました。

教育費関係では、鶴川内中学校の危険校舎改築工事と阿久根中学校の改修工事費追加分四千七百四十四万円と、青年の家屋外便所設置費、体育館の白アリ駆除委託料などでした。  
冷蔵庫特別会計補正予算では、歳入歳出に七百万円を追加、予算総額を二千五百九十九万四千円とし、歳出では、凍結防止工事費を予算計上したものです。

### 副議長に

## 富吉福蔵氏を選出



選出されました。

富吉氏は市内佐賀区出身で、昭和四十六年市会議員に初当選以来、現在四期目、副議長就任も二期目です。

「円滑な議会運営と、市政発展のために頑張りたい」と、抱負を述べてくださいました。

奥平慶蔵前副議長の死去に伴い、後任の副議長に富吉福蔵氏(空)が

阿久根市では、豊かな活力のあるまちづくりを進めるために、各種の長期計画を立てて行政を進めています。人口増や市民の所得向上のため企業誘致、地場産業の育成などにも力を入れていますが、これらを取りまく環境は厳しいものがあります。

また、海と山の豊富な資源に恵まれた本市には農業、畜産物、林業、水産業から生み出される地場産品(特産品)も数多くありますが、しかし、これらの地場産品が果たして効果的な活用と消費がされているかどうか、さらに付加価値を高める必要があるのではなからうか、という意見も多く出てきております。

市ではこのようなことから阿久根市の地場産品を見直し、より効果のある新製品の開発を進め、合わせて、市民の所得の向上と地

## 新製品で「郷土おこし」をプロジェクトチームを編成



市内の地場産品

全国的にも県内でも、地場産品を見直す運動が高まりを見せていますが、阿久根市でも今年から市や民間団体が一体となり、地場産品の開発や製品の効果的利用を図るため、「阿久根市新製品開発推進会議」を設置して、新製品の開発に取り組みことになりました。

二人で編成する推進委員会、この会を補佐する幹事会、新製品などの開発、調査に直接タッチする専門員会の三つの部会に分けて仕事を進めます。

### 農産、水産、林産

### 部会を設け、

### 基本調査に着手

中心となる専門員会には農産部会、水産部会、林産部会の三つを設け、この中に専門の担当員を配置しています。

すでに五月、六月と会議を開き意欲的にこの問題に取り組んでいるところで、今後は、地場産原料で加工製品化されている製品、未利用地場産原料品の調査、これらの需用などの基本調査を進め、新しい製品の発掘に努めることにしています。

市内にはボンタン、タケノコ、イリコ、ウニ、塩干物など多くの地場産品がありますが、これらにどのような手が加えられ、これ以上のよりよい製品が見い出せられるのか、あすの「あくねの郷土おこし」ともなる、この新製品開発プロジェクトチームに期待がかけられます。

野山の緑が、太陽の光にまばゆく映え、いよいよ本格的な夏の訪れを迎えました。

市民の皆さんいかがお過ごしでしょうか。

さて、夏休みをあと幾日かで迎えようとしています。子どもたちにとっては水泳やキャンプなど楽しく、期待いっぱい夏の夏休みにならうかと存じます。

私も小小学時代を思い出すと、夏休みが待ちどおしくて、休み中は勉強もそこそこに、食事

事も忘れるぐらい無中になって近くの近町海岸(現在は港になっている)や大曲の高松川で泳いでいたことを思い出します。

阿久根には美しい海と澄んだ川があり水泳場所にはこと欠きません。大自然の中で心と体をきたえ、健全な心身を形づくる絶好の機会であるうかと存じます。

しかし、水の事故だけはお互いが充分気をつけたいものです。地域、学校、家庭が一体となって事故防止に努め、「阿久根からは子どもたちの犠牲者がでな

## 市長室から



かった」と喜べるような夏にしたいものです。

それと、非行もこの時期に多く芽ばえているようです。幸い、市内の非行の現状はここ二、三年減少の傾向にあります。まだまだちょっとしたハズミ、原因で非行にはいる若者がいると

言うことは、残念なことです。

阿久根の若者には、限らない未来があり将来の阿久根を担ってもらわなければなりません。それだけに市民の大きな期待がかけられています。

青少年の健やかな成長をみんなで見守りましょう。

今年の夏は、「やっとなぞ」と長い人生の中で思い出に残る有意義なことを何か一つでもやってほしいと思います。

阿久根市長 川畑 強



2年目に入った赤瀬川浦地区の構造改善事業

# 赤瀬川地区 構造改善二年目に

## 五ハタールをホ場整備

二年目を迎えた赤瀬川地区の構造改善事業が始まりました。今年着手したのは、昨年実施した区域より東側。この一帯はゆるやかな丘陵地帯で畑作と田が主体

の農業が営まれています。構造改善事業では、この地域約五ハタールをホ場整備するもので、現在地区中央を流れている浦川を、幅四尺、高さ一尺のコンク

リート橋に改良するほか、平均十アールの区画に整備します。総事業費は約五十六百万円で、十月末の完成を予定しています。

五名、八代、県内の大口、鹿児島市などを回り、阿久根を売り込みました。

宣伝隊には観光協会、飲食店組合、市などから二十六人が、また、大島の子シカの「モコ二世」も同行。それぞれの地で官公署、事業所を訪ね、パンフレットや特産品など配りPR。繁華街ではハンヤ節の踊りも披露し宣伝に努めました。

### 熊本、県内へ宣伝隊

夏場の観光シーズンを前に、六月十三日から十五日までの三日間市の観光宣伝隊が熊本県の人吉、

### 新町さんら

#### 21人を委嘱

#### 市政モニター

昭和五十九年度、市政モニターとして市内新町の新町茂さん、園田辰雄さんから二十一人をこのほど委嘱しました。

地域での問題などありましたら近くのモニターへどうぞ。

校区	氏名	区名	年齢
阿久根	新町 茂	新町	58
	園田 辰雄	本町	59
	白坂 裕一	高松	32
	柳田 武雄	波留	78
赤瀬川	大平 正隆	浦中	49
	根比 隆	村	26
鶴川内	新坂 上	梅	61
	長田 秀行	山下	25
山代	松元 安秀	遠矢	34
	中野 茂	尾原	40
西目	尾塚 俊一	佐瀨	47
	西田 博光	高之場	52
大川	下之濱 貫雄	牛之無	33
	寺地 末能	尻中	64
折多	戸留 和成	大田	47
	新洲 喜郎	永之浜	62
臨本	洲崎 喜郎	黒之之	53
	梶尾 木良	梶瀬	47
八郷	八郷 力	八郷	24
	八郷 力	八郷	56

### 誕生

#### おめでとう



- 出生児 / 保護者 区名
- 上原賢太郎 利勝(大丸)
  - 神田 康佑 広文(仲仁田)
  - 松崎 直子 茂(東牧内)
  - 片山 将太 良子(新町)
  - 岩崎 太朗 啓介(大川島)
  - 野畑 慎也 直(浦)
  - 花木 浩一 明徳(高之口)
  - 大田 秀壽 岳文(尻無中)
  - 寺地 恵 福茂(尻無中)
  - 竹原 一重 清徳(八郷)
  - 早瀬 佳代 利春(大瀬)
  - 福浦 恵理 恵二(黒之浜)
  - 松木 泰寿 博(梶之西)



電話をかけて、相手がすぐでないときでも呼出音を10回(30秒)くらい聞くまで待ちましょう。

阿久根電報電話局

9月上旬に着工予定

# 「山村開発研修センター」

尾原区に設置



センター建設予定地の尾原区ソーマン流し入口

〔阿久根市内辺地総合整備計画〕に盛り込んだ「山村開発研修センター」の建設が動き出し、九月上旬の着工をメドに作業が進んでいきます。

研修センターは、市内田代の尾原区内に建設するもので、鉄筋コンクリート造り平屋、約二百平方メートル。センター内は七十平方メートルの研修室や約二十畳の和室、調理実習室、それに図書室を兼ねた管理室となつていきます。また、敷地内にはお年寄りのためのゲートボール場も造られます。

総事業費は約千二百万円、来年度二月末の完成を予定。センターは尾原、米次区民の研

修所として利用されるほか、田代地区全体の林業振興のための研修の拠点施設、お年寄りや子どもとのふれ合いの場、林間学校の研修所などとして活用が期待されます。

八月には

## 新市場オープン

阿久根中央青果市場

開設してからすでに二十年を経た利用者や取扱い高が増加、売場が狭くなつていた阿久根中央青果市場が、新しい市場の建設に入り八月下旬の開設を目指し工事が進んでいます。

同市場は、昭和二十九年八月市

や生産者（農協など）、業者が出資して開設されて以来、市場での取扱い高も年々増加、当時に比べ約十倍の三億五千万円の取扱い高となつていきます。

新しい市場は、田舎国産産の製氷工場跡地（現県有地）に総事業費約千二百萬円で建設しているもので、鉄骨スレートぶき平屋、千五平方メートル。

今月末に完成し、八月上旬から取扱いを開始する予定にしています。

限りある水を大切に

## 市職員採用試験の案内

▽採用職種 保母、水道現業員、調理従事員、図書事務員。

▽採用人員 保母一人、その他の職種は一人。

▽受験資格

○阿久根市に本人又は、父母が住所を有する者。

○保母は、保母資格取得者で、昭和二十九年四月一日から昭和四

十一年四月一日までに生まれた者。水道現業員、調理従事員、図書事務員は昭和三十年四月一日から昭和四十一年四月一日までに生まれた者。いずれも高等

学校卒業程度の学力を有する者。また、保母、調理従事員、図書事務員は女子に限ります。

▽一次試験

五十九年八月十二日（日）

▽試験場所

市役所会議室

▽申し込み締め切り

五十九年七月三十一日午後五時まで、郵送の場合は七月三十一日までの消印があれば有効です。

○提出書類、試験内容など詳しいことについては、市役所総務課職員係へおたずねください。

☎12111内2111へ

こめいふくを  
お祈りします

西園	アイ	95	(高之口)	美喜江
松水	ツルエ	70	(牛之浜)	俊明
新町	照晴	50	(上野)	恭子
神川	甚吉	83	(折口東)	ハツキチ
落	エタ	84	(落)	盛古
中村	タメノ	91	(新町)	壽一
奥平	慶蔵	66	(仲田)	正一
大下	勝喜	53	(大下)	シズエ
前田	ササノ	85	(古里)	宗治
花田	美枝子	22	(中屋敷)	正子
落	優	60	(落)	イツ
佐湖	キン	86	(佐湖)	フチ子
川原	トメ	78	(倉津)	喜義
中野	アサエ	55	(仲田)	春嗣
釣場	齊三	76	(釣場)	シメノ
下園	正義	67	(尻無上)	シツ子
西園	重蔵	84	(高之口)	スカ
法福	イツノ	79	(新町)	ミサエ
江之口	三好	58	(馬屋塚)	フクマツ
濱崎	新吉	82	(深田)	長年
松下	力雄	52	(古里)	トヨ
永山	砂雄	57	(八郷)	シズエ

## 消防ミニニュース

(一) は一日から六月まで  
六月の火災発生数 1 (11)  
救急車出動回数 5 (343)

# 対策は充分

## したがが……離れた

では、昭和五十四年度に田代が、五十五年度に尾崎、五十六年度に鶴川内、五十八年度に大川、折多の各校区が次々と市の婦人会から離れていきましたが、田代校区が脱会した五十四年から大川、折多校区がぬけた五十八年度までは五年の期間があったわけになります。この五年の間に、婦人会離れに歯止めはかけられなかったのでしょうか、当の婦人会と、婦人会を育成する立場にある行政はどのような対応をしたのでしょうか。

そして動き出した。婦人会離れ。対策にスポットを当てます。

# 動き出したストップ ザ “婦人会離れ”

## シリーズ ③

# 必要です 立て直しを」

——市民の多くの声——

婦人会幹部だけでは対応できなかった。婦人会離れ”にもっとと行政の協力がほしかった。と行政の対応に不満が聞かれました。

### 婦人会が

### 離れないように

### 行政も手は尽く

### しました

昭和五十六年度まで阿久根市婦人会の会長さんだったEさんは、「いろいろ引き止め策はしましたよ。でも、なかなか昔の人と違い最近の婦人は自分本意の考えだけでしたか行動しない人が多く、役員になつたら婦人会はうつくやうくつでなあ」と率直に言う婦人もいましたね。個人的には役員の方の家を回り夜遅くまで説得にあたりました。一部の会員は市に入つて活動すべき」と主張しましたが、結局私のとこ田代、尾崎、鶴川内の三つの校区がぬけてしまいました」と残念がっています。

そのあと、五十八年度までの会長Yさんも前会長と同じように脱会する校区に入り、対策を構じたとのことですが、この会長さんの時も折多、大川校区が脱会しています。

両会長とも「私たち婦人会ではもはやどうすることも出来なかつた。できることなら行政の方々がもっと早くこれら離れる校区の状況をなりをキャッチして何らかの指導、助言をしていただいていたなら、今日の状況はなかったのかも知れませんが」と、もはや市の

一方、婦人会側から「対応、指導が足りなかつたんじゃないか」と指摘された行政側。婦人会を含め、民主団体の育成指導の担当である社会教育課は、現在、婦人会担当の社会教育指導員も配置して婦人会の育成、指導に当たっていますが、婦人会離れには市の婦人会の幹部の方々と同様に悩んでいます。

「校区の婦人会が市から離れる」と言う話を聞き、私共は担当の職員と一緒にその校区へ何回となく足を運び、市の婦人会から離れないように、当時の幹部の方々の説得に当たりました。ある校区は一時会長を西役で交替にでもやって見ようかと策をとり、一年間はこれで運営しましたが、結局次の年には役員選挙で役員のなり手がなく崩れてしまいました。ほかの校区も様々な原因でくずれてしま

## 作品を募集

### 県発明くふう展

第三十二回鹿児島県発明くふう展の作品を募集します。

発明くふう展は、県内の優秀な発明考案作品を展示し、一般家庭への普及と企業化を行うことで、本県の産業振興と県民生活の向上に役立てようというものです。

作品は、重さ三千g以下、縦横二以下の実物が原則ですが、やむを得ない場合は、見本、写真、図面でも構いません。

出品は、児童生徒、教職員、一般の部に分けられます。

・児童生徒 今年の全国展テーマは「子どもたちの目から見た学習に役立つ新しい教材、教具」ですが、自由テーマでも構いません。科学的内容で独創性に重点を置いた自作または共同の作品であることが必要です。

・職員 テーマは自由

・一般 特許及び実用新案（出願中のものも含む）で実用化された製品、意匠作品、新しい原材料または製品、製造方法などの新技術、創意工夫による作品。なお、参考作品として、他の発明展で受賞した作品なども募集します。

また、小・中学生からは、未来

地域別婦人問題懇談会では婦人会の問題について活発な意見が出される(阿久根校区)



残念です」と社会教育課でも好転できなかったことを悔んでいます。  
結局、市婦人会、行政側とも婦人会離れに適當な対策、解決策を見いだせなまま市の婦人会からはクシの歯が抜けたように五つの校区が離れてしまったのです。  
婦人会離れは一回目で掲載したように○役員のみ手がない。  
○就労婦人の増加の婦人会に入ってもメリットがない。○若年層の未加入の四つが原因としてあげら

れ、五つの校区の脱会と区(部落)の婦人会員が減少しているのです。原因はほぼわかっているのに婦人会離れに歯止めがかからない。婦人会離れについての対策は本当にないのでしようか。「このままでは市の婦人会が消えてしまうのではないか」「何か行政でも対策は立てられないのか」「婦人会の人はどう思っているのか」と市民の間でも関心の高まりをみてきました。

## 婦人問題対策協議会を発足

### あらゆる面から対策をねる

こうしたなかで、行政もこの問題に無関心ではおれず、婦人会問題に本腰で取り組むことになり、市では昭和五十八年七月、婦人問題対策協議会を発足させました。

この協議会は、今日の婦人をしてりまく諸問題について、あらゆる角度から対策を協議しようとするものですが、ひとつは婦人会のたて直しを大きなねらいとしているもので、市、議会、農協、漁協、市内の企業の代表者、それに市内に結成されている十一の婦人団体の代表者がメンバーです。

一回目の会合でも婦人会の問題について①あまり出会日数が多い

のではないか。必要最少限度にとどめるべきだ。②部落(区)だけの婦人会だけでよい。③市につながらない婦人会であつたらいい。④主人の理解が不足している。⑤市でもっと経済的な援助はできないか。⑥市、地域が一体となり人材の確保に努め、専従的な人材を確保する。⑦区長、婦人会長、市で会合をもち協力する。⑧自分本意に走りすぎている。⑨子ども教育のためにも必要……など活発な意見が出されました。

また企業の代表者からは、自社に働く婦人の方々の声として、働くことが一方では婦人会活動がで

の社会について科学の夢として描いた絵画を募集します。絵の大きさはB三利で各学年五点以内で出品してください。  
優秀作品は、十一月開催の鹿児島県美術展明くよう展で賞状、賞品が贈られます。

締め切りは九月二十四日。児童生徒、教職員については作品説明書を付けて、学校長がとりまとめ提出してください。一般、児童生徒、教職員ともに申込書は、県庁商工振興課にあります。

申し込み及び問い合わせは県庁商工振興課(〒892 鹿児島市山下町一四一五〇 ☎0992281111 内線2857)へ。

### 6月の市内交通事故

	( )は前年	累計 1月から6月まで
発生件数	18 (19)	72
死亡者数	0 (0)	1
傷者数	22 (26)	90

きず、自然と婦人会から離れてしまふ……と悩みなど出されました。今年に入ると市の社会教育課では地域別婦人問題懇談会の開催にふみきりました。これは、市の婦人会に加入している校区、崩れた校区を回り、その地域の婦人や関係者に集まってもらい、婦人会について生の声を聞くこととするもの

## 下部の盛りあがり

### 婦人会の育成を

#### 鶴川内校区からの意見

昭和五十六年度脱会した鶴川内校区で出された意見としては、崩壊の原因では、①校区の会長になり手がなかった。②市街地の婦人会と田舎の婦人会とは状況が違ふ。③高度なことをさせられる(トップについていけないかった)④役員になれば手間、暇がかかり、金もかかるなど。現状では、①婦人会がなくても学習の場はいくらでもある。②部落内の活動は閉結してやっている。③校区がなくなるとしわ寄せも全々ない。④婦人会がこれ、その分区分長が忙しくなったなど。要望として、①地域の実態に応じた活動をすすめる。②上部からの押しつけでなく下部からの盛りあがり婦人会の育成を図って、③市は各部落に入って指導

で、一月二十日、折多地区を皮切りに、二月七日の阿久根校区まですべての校区を回り意見を聞きました。とくに、脱会した五つの校区では、①婦人会が崩壊した理由について、②市婦連につながっている当時はどうだったか。③現状④要望などの意見を集約しました。

しなさい。など出されました。また現在市に入っている四つの校区からも、部落によっては活動しているところもあるが、婦人会離れのさざしもある。……無理をしないうで楽しい活動を……など、現状と要望が出され、婦人会の運営活動に婦人の方々が苦勞しているのがわかりました。

### 婦人会幹部

#### 研修会でも協議

一方、市の婦人会でも幹部研修会、婦人会長会などを通じて、会員増のことや、婦人会をめぐるさまざまな問題について研修が持たれ婦人会独自でもこの婦人会離れ対策に積極的に取り組んでいるところだ。

## 地域別婦人問題懇談会から

市から離れている校区から  
出た意見(折多、大川、鶴川内、尾崎)

### 現状

- 区(部落)では活動している。(場合によっては校区でも集会の場をもっている)
- 市につながっていないなくても何も不自由を感じない。
- 区によって婦人会に未加入の人もある(未加入者が何人かいるとそれにつられる)
- 区だけ(部落)であればまとまりもよく、会員の協力もよい。
- 区の会合でも出会うのは婦人が多く、男性は少ない。
- 婦人会がなくても学習の場は今、いくらでもある。
- 校区がなくなったことによつてのしわ寄せも全々ない。
- 趣味的学習は、婦人の家を利用しているので不自由していない。
- 就労婦人は、自分のことで休むのさまたげ会社に気を使っているのに婦人会のことで休みがとれない。
- 市につながっていないだけで運営は前と変わらない。
- 今は出方が少なく楽である。

### 要望

- 小さなところ(部落)から固めてだんだん(校区)大きく(市)広げていくことが大事だと思ふ。
- 青少年の問題から考えても、男性以上に婦人の力は大きい。
- 現状に満足していないので、あと一歩進み、市とつながりをもつことが必要。
- 婦人会に入ってよかったと思ふような指導をしてほしい。
- 企業は地域に密着すべきなのに、利益だけ追求し、婦人が暇をとりにくい。
- 活動を進めるには、地域の実態に応じてほしい。
- 上部からの押しつけでなく、下部からの盛りあがり婦人会の育成を。
- 校区では末端まで根をおろして活動している、現状に満足しているの、中央に出るような場をつくらないで。(地域別婦人問題懇談会のまとめより抜粋)

## 「サマージャンボ宝くじ」発売

(別称 市町村振興宝くじ)

1等賞金 3,000万円  
前後賞合わせて 5,000万円  
マイカー(特別賞)が2100台(30%相当)当る。(14ユニットの場合)  
7月19日(木)から予約受付開始

### 施設訪問や

#### 空き缶回収

#### 少年に社会参加活動を

警察では、少年の非行を防止し、健全に育成するため、七・八月の青少年育成の日を中心に、県下各地で少年の社会参加活動を進めようとして計画しています。

学校や家庭で得ることのできない体験を積ませ、地域の人のふれ合いや相互理解を深めていくために少年の社会参加活動を地域ぐるみで盛り上げましょう。

社会参加活動を通して、少年の根性や自立心、連帯感をほぐぐみ非行防止抑制に役立てましょう。





働く婦人も多くなりました

## 具体的な方策は…… 現実にはなかなか厳しい

社会教育課は、今年に入り婦人学級や家庭教育学級、婦人会研修会で婦人会の必要性を強く婦人の方々に説明して回っていますが、

の具体的な方策は見いだすことはできず、もう少し期間を置いて協議することになりました。

### 良い方策は どこに

反応は今一つ盛りあがりには欠けているそうです。さる二月一日には二回目の婦人問題対策協議会も開かれ、これまでの対策のいきさつが報告され、出席者からはいろいろ意見が出されました。では、どういう対策をとり、どう動くかと

婦人会離れに歯止めを、婦人会・行政は動きだしましたが、現実にはなかなか厳しく、どれが

一番良い方策なのか、その方策をとってはたして婦人会離れに歯止めがかかるのか、誰も結論が出せないのが今の現状なのでしょう。ある人は、もう一回原点に立ちかえって婦人会をみつめなおしたと言いました。またある人は、地域の婦人会だけでいいとも言います。どんな対策が、今の婦人会離れに一番の良薬なのでしょう。何

### サンライフ小さな親切クリーン作戦 7月22日(日)～31日(火)

この期間、県下一斉にクリーン作戦が実施されます。決められた日にみんなで参加し、明るく、きれいな地域づくりに協力しましょう。

#### 「ご意見を」

婦人会シリーズに対するご意見、ご要望をお待ちしています。どしどしお寄せください。

#### あて先

阿久根市鶴見町二丁目番地  
阿久根市役所総務課庶務係

### 消費者 質問箱

①

相談

商品の契約でトラブルを防ぐためにどのような注意が必要でしょうか。

答

契約書をよく読みましょう。

相手方の言葉を鵜呑みにしないで契約書の内容をよく検討して、はっきりしないことやわからないことは、納得のいくまで説明を求めましょう。

親の同意を得ない未成年者の契約は取り消せます

未成年者のした契約も一応は有効(幼児は無効)ですから、契約に従い代金を支払わなければなりません。しかし、未成年者が親の同意を得ないで契約した場合は取り消すことができます。

ただし、……贈与を受けたり、債務を免除してもらったなどのように、単に権利、義務を免れる契約、小遣いでステレオを貰うなどのように親から処分を許された範囲内での契約などは、親の同意がなくても契約することができます。取り消すことはできません。

# 水泳教室大盛況 元気に水しぶき



ピート板による練習、先生の目もするとい



子どもの顔も真剣そのもの



## 危険箇所の点検を

### 子どもを水から守ろう

今年も水に親しむ季節になり、海や川での水難事故の犠牲者を出さないように家庭や学校、地域ぐるみ気をつけましょう。

子どもたちを水による事故から守るため、①子どもだけで、川や海辺、ため池の近くで遊ばないよう注意し、②通学、通園路にある、また、魚釣り、遊泳中の大人の事故も毎年起きています。無謀な計画や行動を慎んで救命具をつけるなど準備や心構えをしっかりとしましょう。

河川、側溝など危険な場所はないか、点検し、所有者や管理者に働きかけ、ましよう。



## 浜区優勝

### スローピッチ ソフトボール

阿久根市で初めてのスローピッチソフトボール大会が、六月十二日から十五日までの四日間市の総合グラウンドで行われ、九チームが参加、浜区が初優勝しました。

スローピッチソフトボールは普通のソフトボールとそう違いませんが年齢が四十歳以上が対象で、①ピッチャーはボールを一尺八寸三以上の高さで投げる②バント、盗塁ができないなど壮年の体力づくりにチームを呼びそです。なお一位は六童会、二位飛松でした。

## みんなの道路 大切に

8月

### 道路を守る月間

八月一日から一か月間は「道路を守る」月間です。

道路は、市民みんなの大切な財産です。道路の占用（水道、ガス管、排水管理、看板の設置など）は、市道は市役所、県道・赤線は出土木事務所、国道は、建設省の許可を受けてください。

▽問い合わせ先

市役所建設課①2111内121へ。出土木事務所099666  
③3111内36。建設省鹿児島国道事務所阿久根維持出張所③0605へ。

三地区（牛深市・全長島・阿久根市）

## 対抗親善体育大会 ことしは阿久根が会場 7月29日(日)

グラウンドを中心に12種目が行われます。



みんな泳げるよ!!

神さま、およげますように!



先生はキビシイ。はなをつまんでそれっ!!



チビッコはさすがに  
上手な人たちばかり

市内牧内の日アンドG海洋センターのプールでは、今、各種の水泳教室が開かれ、子どもたちから大人まで元気に水しぶきをあげています。

泳げない子ども、チビッコ(ジュニア)、ママさん、レディーズ、母と子の五コースで、受講生もこれまで最高の三百人。

とくに、泳げない子どものコースは人気があり、小学一年生のかわいい子どもたちは「はやくおよげるように」と、先生の教えに元氣いっぱい頑張っています。

メドレー(A級)  
プリンス(B級)  
ベアーズ(C級)

優勝

夏季ソフトボール大会

阿久根市夏季ソフトボール大会は、五月十三日から二十一日まで市総合グラウンドで行われA級に十一人、B級に二十二名、C級に十五人が参加し熱戦をくりひろげました。

成績は次のとおりです。

A級

一位メドレー、二位キング、三位キャンディーズ 電報電話局

B級

一位プリンス、二位市農協、三位ナショナル、阿久根小

C級

一位ベアーズ、二位水田下、三位ランナーズ、ヨシマル会

阿久根市役所優勝

3年連続、六回目

県下市役所対抗剣道

第十八回県下市役所対抗剣道大会は、六月十六・十七日の二日間阿久根市民体育館に、県下十四市から百八十人の選手、役員が参加して行われ、阿久根市役所チームが決勝で枕崎を二対〇で破り、三年連続六回目の優勝を飾りました。また、三段以下の個人戦でも大田基次選手が優勝しました。

税に関する

作文を募集

国税局 税務署では毎年、中学生や高校生の皆さんから税に関する作文を募集しています。

テーマは、税について日ごろ考えていること、学校等で学んだこと、日常生活で見聞きしたことなど、税に関するものであれば何でも結構です。

字数は、高校生三千字以内、中学生千六百字以内で、締切りは、高校生九月五日、中学生は九月二十日となっています。作文はお近くの税務署へ提出してください。

中学生・高校生の皆さん、あなたも応募してみませんか。

作文の応募について詳しく知りたい方は、税務署にお尋ねください。

出水税務署

(電話〇九九六六〇〇二〇〇)

60年の成人式は

平服で

参加しましょう

阿久根市新生活  
運動推進協議会



友だちの作品 ■ 隼人中学校



市内のお店で買いましょ

市内倉津  
倉津良一さん(23)

わたしの

十八番

脇が姿婆

狂句光い明生きつ

薩摩狂句

づくり

市内大川牛之浜  
牛之浜忍さん(58)

新緑

隼人中二年田上陽一

進歩

隼人中二年野村浩二

牛之浜さんは、昭和四十年、四十歳の時病気が原因で光を失い全盲になった。ある日ラジオを聞いていたら狂句コーナーで、投句されていた狂句が自分の考えと同じで、これに興味を持ち狂句を作り始める。昭和五十一年ころからラジオ、テレビに「牛之浜流れ星」の狂句で投句、次々に採用された。目が見えないので狂句作りは難



儀とのこと、句が浮かんだらまず大学ノートに手探りで下書きし、これをめいがハガキに正書して投句してくれる。そのノートも九十九冊になった。  
出した狂句は特選、入選で二百句を下らないそうです。「狂句づくりが生きがいで、投句をするようになって体も丈夫になった」と、狂句づくりに生きる牛之浜さんです。

今月の新着図書

図書館だより



▽柔らかな個人主義の誕生(山崎正和著)▽華やかな密室(山村美紗著)▽竹村健一の現代を解くキーワード(竹村健一著)▽箱根の坂・中(司馬遼太郎著)▽隼之助の歌謡伎講座(市川猿之助著)▽

ミュンヘン物語(小松伸六著)▽わが女房教育(永井龍男著)▽明治野郎(津本陽著)▽白鳥の構図(高橋治著)▽なにがお巡りさんか(阿久悠著)▽ストリートパー物語(つかこうへい著)▽

女さかり(森瑠子著)▽風を追いかけて(丘みつ子著)(地嶺(大原高枝著)▽軽やかなヒーローたち——城山三郎対談集▽出合った縁(佐多稲子著)▽59年度課題図書「へんしんノスグナクマン」ほか日本人の「にげだした兵隊」『投げろ魔球ノカッパ怪投手』ほか三人にせ金づくり』『ゆうびんサクタ山へいく』

在宅医さん

在宅医の診察時間は午前九時から午後五時まで、急患の方以外はご遠慮ください。

7月29日

簡井耳鼻咽喉科(00040)米町

田中外科(00553)大丸

平医院(02626)吉里

8月5日

阿久根内科(00578)琴平

北国医院(00016)本町

石原医院(00045)鶴之東

8月12日

上関医院(01055)本町

喜多医院(00038)大丸

臨本病院(02121)鶴之西

8月15日(盆休み)

後藤医院(00420)本町

黒木外科(00200)下村

第30回全日本一般

男子・女子

ソフトボール大会

九州地区予選会

8月4日・5日

男子

総合グラウンド

女子

阿久根農校グラウンド

# サークル紹介 ⑨

## 阿久根走ろう会



昭和四十八年、地域の小さな高松走ろう会から、阿久根走ろう会に変わったのが昭和五十年四月。早いもので十年が過ぎ、現在、七十九歳の会員を筆頭に四十人の会員は増々元気で健康づくりにランニングを続けています。

会のねらいは、ランニングを通じて、会員相互の心身の練磨と親睦を図ることを目的とし、愛好家をもって組織しております。なお、目的達成のために会員の勧誘につとめ、仲間を増やし毎月自由参加の走ろう会を行っております。また、月曜日は一定の場所に集合して早朝走ろう会も実施しています。

参加している方々もクリーニング業、床屋、会社員、店主などさまざま、チームワークがよく若い会員はランナーズというソフトボールチームをつくっています。今年から十一月に阿久根ポテン完走大会と称し、県内、県外の走る仲間と呼びかけて、互いの健康を語り一緒にランニングする計画も立てています。

「健康」のため、無理せず、自分のペースで毎日楽しくジョギングを愛し継続する仲間です。

### 阿久根歌壇

も新たである。

引揚の列車の中に逝きし子は幼きままの顔夢に見す

川畑 スミ

〔評〕 かつて幾百万の無事の同胞が敗戦の悲惨に苦しんだ。国家の庇護を失った母の無為に愛子を死なした哀しみは四十年経た今

吾が庭の紫陽花の花咲きそめて昨日の青はむらさきとなる

花田 幸男

硫黄島に空しく死にし父を持つ娘の輪もはや四十となる

川畑 スミ

### 折田憲司選

ワンピースの裾ひるがへす夏の風されど若きは還らぬものを

宮原 穂子

婚礼に装ひせんと鏡見る眼のくぼみ母に似て来つ

赤崎 タエ

### あくねのみんな③



#### 大蛇と金壺

だじゃ さんつぼ

壇の浦の戦いで、平家は壊滅したが、阿久根沖まで逃れてきた舟が一艘あった。その舟には親子四人と一人の家来が乗っていた。ところが、桑島が桑島の近くまでくると、桑島を根城にした海賊の舟が襲ってきた。

船の中にはたくさん金の入った金壺があったので、海賊共はこれを目当てにおしよせて来たのでした。海賊共がその金壺を取ろうとすると、不思議にも五匹の大蛇がどこからともなくあらわれてこの金壺を守るのが行こうとした。海賊は怒って大蛇を追いかけ争いを始めました。平氏を殺した海賊共も大蛇にはひどいめにあってとうとうしめころされてしまった。



五人の人は、落人とはいえずに覚えのある武士でしたので必死で戦いましたが、海賊は多勢でかなうことは出来ず落人達は可哀想に船諸共に海に沈んでしまいました。



人の噂では、五人の落人の壺が大蛇となつて壺を守つたのだという。今でも桑島には大蛇がいるので大島には行くが桑島には行かないのだと古老は語っています。

## みんなの広場

皆さんの周りで起きたニュース、  
話題など、なんでも結構です。  
広報係へお寄せください。  
☎1211 内214



サービスをモットーに、毎日笑顔で頑張っています。  
市内倉津 倉津 晴子さん(23)



一本一本ていねいに植える

# 秋満開を楽しみに

## グラウンドにコスモス八千本

市老人クラブ

グラウンドを花でいっぱいにする。年寄りたちがコスモスの苗をグラウンドに植えました。

奉仕作業には大川校区の老人クラブ、市街地区のクラブ員ら百五十人が参加。バックスタンドに赤白ピンクの苗八千本を、一本一本きれいに植えました。あるお年よりは「グラウンドはいつもゲートボールでお世話になっていました。今日はそのお礼。秋の満開を楽しみたい」と汗を流し植え込んでいました。また、六月三十日には市民いこいの森にも約一万本を植え、緑のまちづくりに協力しました。

## 空カン拾い

### 大丸老人クラブ

市内の大丸老人クラブ(河南水音会長)は、六月五日の午前中、二十人のお年寄りが出て市役所前



空カンも拾えばリヤカーいっぱい

付近の空カン拾いに汗を流し、リヤカー二百分(写真)を集収しました。

## 高之口区(男子)

### 湯区(女子)優勝

区対抗バレーボール大会(部落)対抗選手権バレーボール大会は、六月二十六日から二十九日までの四日間、市体育館と勤労者体育センターで行われ、市内から男子二十六チーム、女子十チームが参加、夜間に連日熱戦が展開されました。

優勝は男子高之口区、女子湯区でした。一位以下は次のとおりです。男子一役段、三位寺山、尻無上。女子一役高之口、二位上原段。

## 「お仕事をいへるおさま」 花と手紙の プレゼント

めぐみ幼稚園

市内波留のめぐみ幼稚園の園児四十五人が六月十二日市役所に新枮助役を訪れ「まいにちのおしごとくろうさまです」と、一人ひとりと花と自分で書いたお手紙を渡しました。新枮助役も「毎日、元氣でお友だちと仲よく遊んでくださいね」とお礼を述べ、かわいい園児の訪問にニコニコ顔でした。



助役に花を渡す園児たち

## 交通事故相談日

八月十日(金)

市民相談室

夏本番

一斉に海開き

阿久根大島、脇本、大川島



雨の中での海開き（大島）

市内の阿久根大島、脇本、大川島の海水浴場で七月一日、一斉に海開きを行い、いよいよ夏本番、海水浴のシーズンを迎えました。このなかで、野生シカの住む島として県内外に知られる阿久根大島でも雨の中、海開きが行われました。

大島の海開きには、市や観光協会、南国交通のガイドさんら関係者百五十人が参加。まず、午前十一時新助役らが参加して神事が行われ、シーズン中の安全と無事故を祈願しました。

ハイ！元気だよ



小野豪氏ちゃん(2歳)  
市内大尾  
小野勝博さんの二男

わたしの

お父さん⑥

市内瀬之浦下

小村 曉美 (11)



小村 清一さん(43)

わたしの父は、わたしが四年のとき、家族で、都会から帰って来て、農業をしています。都会にいたるときも、土地を借りてスイカやメロンを作るほど、父は農業が大好きです。今年も、寒さのためマメが損害を受けたと残念がっていました。現在は、自分で熱心に育てたうえで、スイカを作っています。この前、そのスイカを食べましたが、とても甘くおいしかったです。これからも、みんなに喜ばれるスイカをたくさん作ってほしいです。

図書代の一部に

五万円母校に贈る

大阪の清水さん、折多小へ

「母校の子どもたちの成長が楽しみです。また、かわいい。図書購入費の一部にでもして」と、大阪市東淀川区にお住まいの清水様さ

このあとさっそく初泳ぎ。ビーチパラソルやボートがならんだ砂浜はもう夏一色。カラフルな水着姿のバスガイドさん三十二人が、ふりしきる雨の中一斉に海に飛びこみ、水をかけ合ったりして初泳ぎを楽しんでいました。

ん(65)から、母校の折多小学校に五万円が贈られてきました。清水さんは、昭和六年間校を卒業され、今は一人暮らしとのこと。学校では、さっそく伝記物語の本を中心に約五十冊購入して子どもたちの学習意欲の向上に役立てました。

潟区優勝

区対抗婦人ミニバレーボール

第二回区対抗婦人ミニバレーボール大会は、七月九日勤労者体育センターとBアインドG体育館に二十二チームが参加して行われ、潟区が優勝しました。一位飛松、三位佐潟、牛之浜でした。

むかしの

子どもの遊び

⑬

フツツ

(ホオズキ)



赤く色付いた実を指先で破れないようにのみ、やわらかくなったら、針かつまようじのような物でなり口に差して中のタネを取り出す、きれいに水洗いして、空気を入れ口の中で鳴す。女の子が上手だった。

どこの庭先にもよく植えてあったが、今はめずらしい、そろそろ赤くうるころだろうか。

# お知らせ

行事催物など  
どしどしお寄せください  
③1211内線214

## 宅地建物取引主任者 資格試験の案内

▽試験の日時  
五十九年十月二十一日(日)  
午後一時から三時まで

▽試験場  
鹿児島市立城西中学校

▽受験申し込み書の交付  
五十九年八月二十日から九月七

日まで、県庁土木部建築課、熊毛支庁、屋久島、大島支庁、県各土木事務所で交付します。

▽申し込み受け付け  
五十九年九月二日から七日まで  
詳しくは県庁土木部建築課 ☎0992268111 内3112へ



## 海区漁業調整委員選挙

7月24日告示 8月2日投票日

### 漁業調整委員会とは

鹿児島県海区漁業調整委員会は、選挙による委員と、知事の選任による委員で構成され、漁業権設定について知事に意見を述べたり、入漁権の争いを裁定したりする県の行政機関のひとつです。

### 投票できる人

委員の任期は四年で、公職選挙法に準じて選挙が行われます。

五十八年十一月五日確定された選挙人名簿に登録されている人  
(なお、この選挙の場合は選挙時登録はできません)

### 不在者投票ができます

投票日に投票所に行けない人は、市選挙管理委員会において投票ができます。(印かんをお忘れなく)

期間七月二十四日から八月一日  
時間は午前八時二十分から午後五時まで。

郵便による不在者投票を希望される方は、投票用紙を告示前に請求できます。

八月二日の投票時間は午前八時から午後四時までです。

あなたがひろげる  
きれいな選挙  
贈らない  
求めない  
受けとらない

## 乾電池の回収にご協力



市役所に設置してある回収箱

水銀を含んだ使用済みの乾電池が新たな公害問題として新聞、テレビ等で報道されていますが、阿久根市においても乾電池を回収することにしました。

各家庭においても使用済みの乾電池は「不燃物回収日」に別袋に入れて出されるよう、回収にご協力ください。

また、市内の商店や小中学校にも回収箱を設置していただきますので、協力ください。

不明な点がありましたら市の保健衛生課環境係 全係 ☎1211 内433へ。

## 社会を明るくする運動

7月1日から一カ月間

法務省の主催による「社会を明るくする運動」は、七月一日から一か月間「青少年の非行防止」を重点目標として、全国的に実施されています。

犯罪の防止と犯罪におちいた人たちの改善、更生について理解を深めていただき、犯罪のない明るい社会をさすましよう。この運動に市民のご協力を。

## 社協だより

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

(敬称略)

中野勇(大下) 折橋安子(弓木野) 双津馨(下村) 上村悠子(梶) 河南登喜世(上野) 上藤昇(波留) 濱崎守(大丸) 大石ハツエ(淵) 藤原光雄(桐之下) 松永俊明(牛之浜) 奥早正一(仲仁田) 栗林貞子(高之口) 小野フジ子(大尾) 川原喜義(倉津) 中野春嗣(仲仁田)

## 不用犬の引き取り

七月二十四日  
午前十時  
～十時半  
保健センター